



尼崎市のまちづくりのキャッチフレーズ



尼崎市

Amagasaki City

ひと咲き まち咲き あまがさき

ごきげんさんに暮らすヒントがいっぱい！
尼崎市定住・転入促進情報発信サイト「尼ノ國」



弥生時代から、先進的な地域だった



田能遺跡

弥生時代の大集落跡「田能遺跡(国指定史跡)」からは、人骨とともに木棺墓が発見されたほか、銅剣・銅鐙など貴重な遺物をはじめとする大量の土器や石器が出土し、当時の先進的な暮らしを知る貴重な手がかりが得られました。海岸線沿いの土地は、奈良時代以降荘園として開発され、流通の場として繁栄。荘園の領主は京都や奈良の貴族や寺社が多く、尼崎は当時から都とのつながりが深い地域でした。

田能資料館



西国から都への中継地点・大物



国風 文治四年摂州大物浦難風図

源氏と平氏が激しく争った平安時代の終わりごろ、神崎川河口に近い大物は人や物資が行き交う港として栄えていました。兄・源頼朝と対立した源義経や弁慶たちが、九州へ逃れようとするなか大物から船出して遭難した逸話は、能「船弁慶」や浄瑠璃・歌舞伎「義経千本桜」に取り入れられ人気を集めました。

秀吉が尼崎で危機一髪！ゆかりの寺も

備中高松城の戦いがあった羽柴秀吉は、本能寺の変を知って京都に向けて大移動を開始。のちに「中国大返し」と呼ばれるこの強行軍では、尼崎にも足を踏み入れました。

伝説では、武庫川の草むらからキジが飛び立つのを見た秀吉は、待ち構える明智軍勢に気づいて進路を変更したとされ、この地は「雉ガ坂(きじがさか)」と呼ばれています。

また、秀吉が逃げ込んだとされる廣徳寺には、秀吉が僧に変装して難を逃れた逸話「味噌すり坊主」にまつわる品々のほか、朱印状、寺領目録などが残されています。



尼崎の海岸線の移り変わり(略図)

豊かな歴史をもつ尼崎

紀元前から進んだ文化を持った人々が暮らし、古代から中世にかけては海陸交通の要衝として、近世には城下町として発展しました。近代に入ると日本有数の工業都市として栄えるなど、尼崎は歴史の中で常に重要な位置を占めてきました。

大坂の西を守る要、「尼崎城」築城

江戸時代初期、譜代大名の戸田氏鉄(とだうじかね)を藩主に尼崎城が築城されました。今の尼崎市や伊丹市から神戸市の須磨まで、海岸部を中心に広い領地を持ち、阪神間唯一の城下町が形成されました。築城に伴い城の西側につくられた寺町には11の寺院が残されていて、当時の佇まいを現在に伝えています。

「尼崎市」の誕生とまちの発展

明治維新によって尼崎藩はなくなり、尼崎城も廃城となりましたが、産業・交通の発達など、徐々に近代化・都市化が進み、大正5年には尼崎市が誕生しました。戦後は商店街の再建から活気を取り戻し、平成28年には市制100周年を迎え、「ひと咲き まち咲き あまがさき」を目指した新たな一歩を踏み出しました。



145年の時を経て、尼崎城再建



尼崎で創業した家電量販店の創業者の寄贈により、尼崎城が廃城から145年振りに再建され、平成31年3月29日にオープンしました。江戸時代の城下町にタイムスリップできる「大迫力VRシアター」など、尼崎の歴史や文化を発見・体験できる魅力が満載。「来て・見て・触って・体験してもらう」ことで、いつまでも愛されるみんなの尼崎城を目指します。

Topics

地名に海辺の名残を留める尼崎

大阪湾の沿岸潮流や、武庫川・猪名川が運ぶ土砂が堆積し、北から南へと形成された尼崎。「潮江」「長洲」「杭瀬」「尾浜」「難波(なにわ)」など、内陸部がかつて海辺の土地だったことを表す地名がたくさん残されています。

Topics

伝統産業「菰樽(こもだる)」

上方から江戸に酒を運搬する際、樽が破損しないように菰を巻きつけたのがはじまりとされます。灘の酒造業の発展とともに尼崎では菰樽づくりが盛んに行われ、現在では全国シェアの約8割を占めています。



環境の生きづくまちは美しい

明治時代、紡績工場の開業で工業都市としての第一歩を踏み出した尼崎。大正から昭和にかけては重工業都市として発展し、戦後にはわが国の高度経済成長をリードしてきました。創業100年を迎えた長寿企業も多く、さまざまな分野の産業が尼崎のものづくりを支えています。

また、市民や企業とともに地域資源や人のつながりを活かした環境のまちづくり活動が広がっており、産業界からの提案を受けて「ECO未来都市あまがさき」を宣言しました。「高い技術力・生産力」「コンパクトな市域・機能集積」「市民や事業者の高い協働意識」を活かす3つの基本方針に基づく取り組みが評価され、平成24年度には国から「環境モデル都市」に選定されました。尼崎市では、いろいろな立場の人たちがつながりながら、環境や自然のためにできることを考え、実践しています。



地元企業も環境に取り組む！



あましん緑のプロジェクト「植樹祭」

地元企業である尼崎信用金庫では、環境保全活動に積極的に取り組むため「あましん緑のプロジェクト」を立ち上げ、「尼崎21世紀の森づくり」に協力するほか、環境改善に寄与する地域の優れた技術やアイデアなどを表彰する「あましんグリーンプレミアム」を実施しています。



あましんグリーンプレミアム授賞式



尼崎21世紀の森の未来予想図

100年かけた森づくり

尼崎臨海地域の約1,000ヘクタールで、地元で採れた種から育てた苗木を植えてつくる尼崎21世紀の森。植樹イベントなど多彩なイベントも開催。開放感いっぱいの大芝生広場も人気です。

森づくりの様子



産業と環境が共生するまちへ

兵庫県下最大級のコスモス園

一時は荒れ果てていましたが、ボランティア団体「髭の渡し花咲き会」が立ち上がり、見事なコスモス園に生まれ変わりました。毎年9月初旬に種をまき、10月下旬から11月中旬にかけて、約550万本のコスモスがあたり一面を彩ります。

コスモス園の魅力



武庫川髭の渡しコスモス園



夏の風物詩・ホタルを尼崎で

昭和30年ごろまでは市内でも見ることができたホタルを蘇らせようという活動が実りました。西武庫公園や農業公園で、ホタルを鑑賞することができます。

ホタル蘇りへの想い



あまがさきエコクラブ

限りある資源を大切にしようと尼崎青年会議所のメンバーを中心に設立。再生資源でつくられたトイレトーパー「エコあま君ロール」のキャラクターは、尼崎市出身・在住の漫画家・尼子騒兵衛さんのデザイン。



あまがさき環境オープンカレッジ

尼崎を愛し環境を思う人が出会い、ともに学び、実践へのきっかけをつくる場として設立。夏の「打ち水大作戦」には、毎年多くの人たちが参加します。



Topics 尼崎の市外局番が、大阪じゃないのに「06」のワケ

尼崎で最初の大工場・尼崎紡績(現・ユニチカ)が、明治時代に大阪電話交換局の特別加入区域として市内初の電話を設置。戦後は複数の電話局番が混在していましたが、特に大阪との経済的な結びつきが強かったため、市や商工会議所などが国へ陳情し、「06」になりました。尼崎紡績の初代社長の妻が、NHKの連続テレビ小説「あさが来た」の主人公のモデルとなっており、市内のユニチカ記念館には多くの来場者が訪れます。



ユニチカ記念館

Topics 産業が結んだドイツとの国際交流

世界で初めてディーゼルエンジンの小型実用化に成功した「ヤンマー株式会社」の創始者・山岡孫吉さんが、ディーゼルエンジンを開発したディーゼル博士を顕彰するため、ドイツ・アウクスブルク市に日本石庭苑を寄贈した縁で、昭和34年4月に主力工場がある尼崎市とアウクスブルク市の間で、日本・ドイツ間初の姉妹都市提携が結ばれました。



神崎工場(現・尼崎工場)前で竣工記念撮影



劇作家・近松門左衛門

江戸時代に人形浄瑠璃(文楽)や歌舞伎の世界で活躍。尼崎市の久々知にある広済寺の再興に尽力して以来、しばしば同寺を訪れました。広済寺の境内には近松の墓(国指定史跡)があり、隣の近松記念館ではゆかりの品々が展示されています。

人形浄瑠璃文楽「曾根崎心中〜天神森の段」

近松のまち・あまがさき

尼崎市では、近松とのゆかりが深いことから「近松のまち・あまがさき」をテーマに文化振興を進めており、「近松祭」などのさまざまな取り組みを「近松ナウ事業」として広く発信しています。また、次代を担う優れた劇作家を世に紹介し、新たな演劇作品の発掘、劇作家の育成を目的に創設した「近松賞(正式名 近松門左衛門賞)」の受賞作品は、プロの劇団により上演されます。

薪能で幽玄の世界へ

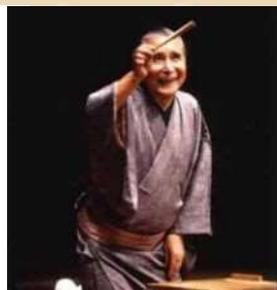
大物川緑地公園野外能舞台で毎年開催される「尼崎薪能」では、ゆかりの演目「船弁慶」が2年に一度演じられています。また、毎年7月26日には「富松薪能」が、富松神社境内で開催されています。これらの薪能には、尼崎子ども能楽教室で日々練習に励む地域の子どもたちも出演します。



尼崎薪能

Topics 人間国宝・桂米朝さん

尼崎に長く住まれ、若手落語家が芸を披露する場として、昭和52年から桂米朝一門による落語勉強会をはじめました。自分の出番がなくても、お弟子さんそれぞれの出来栄を舞台袖で記録されていたそうです。勉強会は今も一門のみなさんに引き継がれ、尼崎市総合文化センターで偶数月に開催しています。



伝統を受け継ぎ、未来につなぐ

これまでの長い歴史の中で培われてきた多様な文化は、今もまことに息づき、人々に親しまれています。また尼崎市は、「若い人の夢とチャレンジを応援する」ことも大切にしています。

世界的指揮者の吹奏楽レッスン

「音響家が選ぶ優良ホール100選」の「あましんアルカイックホール」では、山岡記念財団と市の共催で「大植英次 中学・高校吹奏楽部公開レッスン&コンサート」を開催。吹奏楽部の生徒たちが、世界的指揮者のレッスンを体験する貴重な機会です。

公開レッスン&コンサート



若手アーティストの夢をカタチに



アート発信基地 あまらぶアートラボ

若手アーティストの発表・創作の場。アーティストトークやワークショップなども開催し、子どもたちをはじめとする市民が芸術に気軽に触れ、体験できる身近な施設です。

あまらぶアートラボ



尼崎市文化未来奨励賞

芸術性の高い優秀な作品を創作し、全国規模の活動を展開しようとしている若手芸術家を応援。受賞者は市内での発表や、子どもたちへのワークショップを行います。

尼崎市文化未来奨励賞



第1回受賞者 小笠原周さんと作品「主人公」



第15回新人お笑いニ崎大賞でのゆりやんレトリィバァさん

あの芸人も尼崎から！?

人気お笑い芸人を数々生んできた尼崎。お笑いを目指す新人の登竜門として、「新人お笑いニ崎大賞」を毎年開催。過去には、友近さんやゆりやんレトリィバァさんも受賞しています。近松記念館では、全国の大学の落語研究会が競う「尼崎落研選手権」を開催。受賞者がプロになるなど、ハイレベルな戦いが繰り広げられます。

「生涯、学習！」

「勉強は学校だけするもの」なんて、もったいない。日々の暮らしや活動の中にも、「学び」の種がいっぱい！尼崎市は、「大人も子どもも学び続けるまち」でありたいのです。



みんなのサマーセミナー

まちに、まなびを、まきおこす

みんなの尼崎大学

「みんなが先生、みんなが生徒、どこでも教室」をモットーに、尼崎をもっと楽しく学べるまちにするためのプロジェクト。「学びたい気持ち」を持って「入学願書」を提出すれば、あなたも「尼大」の学生です。



商学部オープンセミナー「おさかなゼミ」

オープンキャンパス・学祭・部活…「本気の学校ごっこ」やっています！



「まちを知る」や「尼で子育て」などのカテゴリの中から、「学びの検索サイト」で気になる授業をチェック。誰でも参加できる「学生相談室」や「オープンキャンパス」、「まちじゅう学祭」など、学生生活が楽しくなるイベントも盛りだくさん！気のあう仲間と一緒に、部活を立ち上げることもできます。商店街やまちのお店で「学生証」を見れば、いろんな「ガクトク(学生特典)」も！



みんなの尼崎大学



みんなのサマーセミナー

まちのみんなでつくる「みんなのサマーセミナー」は、本物の学校で2日間にわたって繰り広げられます。大人も子どもも「先生」や「生徒」になって、300以上の授業を開講。2日間の受講者数はのべ6,000人以上！



サマーセミナーは、朝のラジオ体操からスタートします

「学びの先進都市」を目指して

研究所の概要



子ども一人ひとりの状況に応じ、学力や生活習慣など実社会を主体的に生きていくために必要な力を伸ばしていけるよう、「尼崎市学びと育ち研究所」を設置。経済学者の大竹文雄さんを所長に、中室牧子さんらの有識者を主席研究員や外部アドバイザーとして迎え、科学的根拠(エビデンス)に基づく先進研究に取り組んでいます。研究報告を行うシンポジウムなども開催しています。



研究報告会鼎談「教育はなにを目指すのか」



「あの時の、あの体験があったから、今の自分がある」。尼崎でそんな「人生のスイッチ」が入る経験をした人たちのインタビューをお届けします。たとえ尼崎生まれじゃなくても、人生のスイッチが入る瞬間があなたにも訪れるかもしれない。尼崎市はそんなまちです。



土居 由紀子さん

群馬県出身。ファイナンシャルプランナー、キッズ・マネー・ステーション認定講師、フリーアナウンサー。10歳と4歳の子どもの母親。市内在住。

誰からも一度も否定されなかった！

「尼崎でこんなことをしてみたい！」と気軽に相談できる「みんなの尼崎大学学生相談室」をたまたま見つけて、「やりたいことリスト」を持って参加。「こんな無理かな」ということが、誰からも一度も否定されなかったのが、本当にびっくりでした！「みんなのサマーセミナー」では、いろんな人が娘たちに関わってくれて、普段見ることができない一面を引き出してくれる様子に「尼崎にはこんなにも面白い人たちがいるんだ！」って衝撃でしたね。ご縁がどんどんつながって、商店街で子どもたちが「おみせやさんごっこ」をするイベントが実現したり、武庫公民館広報誌「むこたん」に親子で関わったりして、一緒に楽しんでいます。

インターンシップで「人生の師匠」に出会えた

「おそうじ=教育」という「価値を変えて提供する」考え方に共感して、栄水化学のインターンシップに参加。おそうじを通じた習慣教育である「エコビカはかせのおそうじ塾」を担当していた時の社長の言葉が忘れられません。企画内容に「それって、上手くいくの?」と言われて、実際に試してみると大失敗。答えを教えるのではなく「気づき」を与えてくれたこの一言が転機になって、「自分でやってみることを大切にするように。インターンシップを終えて就職先を考えた時に、「ここしかない!」と思い、入社しました。社長は、尼崎で出会えた「人生の師匠」です。たくさんの学生のみなさんに、尼崎でインターンシップに挑戦してほしいですね。



大藤 嵯生さん

大阪府出身。平成27年に(株)栄水化学で「尼崎市長期実践型インターンシップ」に参加。平成29年に同社に入社。

日本中が注目! 「ふたごじてんしゃ」で創業

双子を安心して乗せられる自転車がどこにもなかった。「じゃあ自分でつくろう!」と行動して完成したのが「ふたごじてんしゃ」です。何かと制約が多い多胎育児の家庭に、自由を楽しんでもらいたくて取り組んできました。スタート当初、尼崎商工会議所の創業塾で相談すると、実現するか分からないことなのに、私の想いを理解して「絶対いいことだから」って応援してくれました。「この人たちになら安心して話せる」と思えましたね。ちょうど尼崎創業支援オフィス・アビーズが設立された縁もあって、尼崎に拠点を構えました。立場や肩書なんか関係なく「想い」に共感して「人」として応援してくれる人に、尼崎でたくさん出会いました。おもしろいことはみんなでもやる。そんな土壌があるまちだと思います。



中原 美智子さん

大阪府出身。株式会社ふたごじてんしゃ代表取締役として、アビーズに拠点を構える。NPO法人つなげるの代表理事。15歳と8歳の双子の母親。

Pick Up

ピックアップ



あなたはいくつ
知っていますか？
尼崎の「へえ〜」を
集めました。

尼崎地名めぐり



市役所にはファンのみさんのイラストがずらり

主人公は、猪名寺乱太郎！

漫画家・子騒兵衛さん原作の人気アニメ「忍たま乱太郎」のキャラクターたちには、尼崎市の地名がたくさん付けられていて、全国各地から訪れるファンが「地名めぐり」を楽しんでいます。市役所で「影の尼崎観光特使」に登録したファンは日本のみならず、世界にも広がっています。尼崎城のオープンを機に「光の尼崎観光特使」の登録もスタートしました。

郷土画家・白髪一雄

床に広げたキャンパスに足で描く「フット・ペインティング」という独自の技法を確立し、国際的に高い評価を得ている白髪一雄さん。その功績を讃え、尼崎市総合文化センターに「白髪一雄記念室」を開設。作品のほかにも、デッサンなどの資料も公開しています。



アトリエでの制作風景



白髪一雄「天女の舞」

白髪一雄記念室



ウルトラ警備隊が尼崎を守る！

あなたを守り隊！



©Narita/TPC

「ウルトラシリーズ」のヒーローや怪獣、特撮セットなどをデザインした成田亨さんが、子どものころに尼崎で過ごされたことがご縁で、「ウルトラ警備隊」のマークをデザインしたフラッグを作成。コンビニエンスストアなどに掲げています。



ケーキが身近になったワケ

「アンテノール」や「ヴィタメール」などのブランドで全国展開する株式会社エーデルワイスは、尼崎で創業。会長の比屋根毅さんは、生クリームを家庭でも味わえるように実用化し、業界全体の発展のために特許は取得しませんでした。同社協力のもと小学校で毎年行われる「スイーツ特別授業」は、子どもたちに大人気です。



尼崎市ってこんなまち

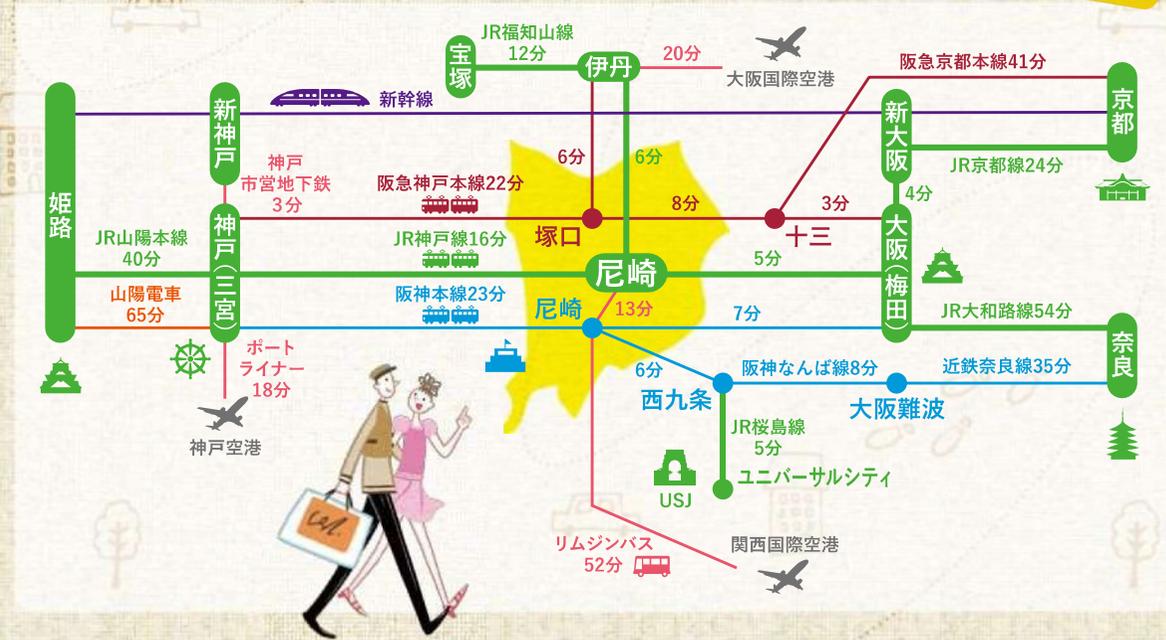
「本当に住みやすい街大賞」 関西1位はJR尼崎！

住宅ローン会社主催の「本当に住みやすい街大賞2018 in 関西」で、JR尼崎駅周辺が第1位に選ばれました。工業地帯が住宅地として大きく変貌を遂げたまちの今後の発展性や、優れた交通利便性などが高く評価されました。



大阪まで電車で5分！アクセス抜群！

鉄道3社の路線が走り、大阪、神戸、さらには京都や奈良へのアクセスもいっしょに尼崎。3つの空港へも1時間以内に行けちゃいます。



重要文化財「数珠丸」×人気オンラインゲーム

天下五剣のひとつ元来日蓮上人の守り刀で、数珠を掛けていたことから「数珠丸」と呼ばれています。行方不明であったが、大正年間に発見後に本興寺に寄進されました。刀をキャラクターに見立てた人気オンラインゲーム「刀剣乱舞」に取り上げられ、若い世代にも人気となり、毎年11月3日の虫干会には多くの参観者があります。

